



# なばり

2019年(平成31年) 3月10日号

主な内容

3~6ページを、抜き取ってご使用ください



**ごみ収集日程表 (4月~9月)**  
ごみの分け方・出し方

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

実際に、燃やさないごみから出てきた事故につながりかねないごみの例



スプレー缶

ライター

電池類

伊賀南部クリーンセンターでは、平成28年に不燃ごみピットで火災事故が発生しました。ピットの底部が3日間にわたってくすぶり続け、大きな損傷は免れたものの、通常の運転再開まで7カ月の期間を要しました。

ピット内で起こった火災事故の詳しい原因は分かりませんが、燃え残ったごみの中からガスボンベやスプレー缶が多数見つかっており、これらの残ったガスが何らかの原因で引火した可能性が考えられます。

この事故以降、センターでは手作業で燃やさないごみの中から引

## 平成28年の火災事故を受けて 手作業での点検を継続中

伊賀南部環境衛生組合 ☎53・1120  
環境対策室 ☎63・7496

火の恐れのあるごみの選別や、小型家電として資源回収できるごみの分別を行っています。手作業による点検は、危険を伴い、時間も手間も掛かりますが、いまだにスプレー缶やライター、電池など一歩間違えれば事故につながりかねない物も排出されるため、続けていかなければならない状況です。また、過去には収集作業中のパッカー車の火災事故も発生しています。

ごみの安全な収集とクリーンセンターが安定した運転を続けていくためには、皆さんの正しい分別が不可欠です。特に火災事故につながる恐れのあるものは、中身を使い切って適切な処分をお願いします。市では、ごみの分け方・出し方を記載したガイドブックを作成し、環

境対策室で配布しています。ぜひ、ご利用ください。また、市ホームページでも掲載しています。

## 小型家電のリサイクルにご協力を

ごみの点検をしていると、使わなくなったデジタルカメラやゲーム機などの小型家電を見つけたことがあります。これらには、レアメタルなどの貴重な資源が多数含まれています。

市役所や市民センターでは専用ボックスを設置し、拠点回収を行っています。小型家電のリサイクルにご協力をお願いします。その際には、必ず電池やバッテリーは抜いてください。

☎秘書広報室 ☎63・7402

# 事故につながる恐れ 燃やさないごみ

伊賀南部クリーンセンターが安全で安定した運転を今後も続けていくためには、皆さんの正しい分別が欠かせません。しかし、収集したごみの中には、一歩間違えれば、事故につながりかねないごみの排出が後を絶ちません。今回は、燃やさないごみの出し方や注意点をお知らせします。



年間約2,000トンの燃やさないごみを手作業で点検!



伊賀南部クリーンセンターでは、平成28年の不燃ピットでの火災以降、燃やさないごみの点検を続けています。

## 火災につながる恐れのあるごみの正しい処分方法



### スプレー缶

使い切った後、屋外で穴を開けてガスを完全に抜いてから資源ステーションのスプレー缶のかごに出してください。



### 使い捨てライター

使い切った後、資源ステーションの「ライター専用回収箱」に出してください。ガスが残っている場合は、市役所へ持ち込んでください。



### ポリタンク・塗料缶

中身を空にしてから、指定ごみ袋に入れて「燃やさないごみ」として出してください。



### 石油ストーブなど

中に入っている灯油を完全に使い切ってから「粗大ごみ」として出してください。

## 使用済み小型家電は ぜひ、小型家電回収ボックスへ

使用済小型家電製品(電子機器)で、40cm×18cmの投入口に入るものが対象です。

主な対象 携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機器、小型ビデオ、カメラ、充電器、ケーブル、小型家電など



回収ボックスは市役所・市民センターに設置しています。



◎電池類は取り出し、一緒に投入しないようにしてください。